

## 【カレー作りゲーム 手順書】

本手順書は標準的な進め方を記載しております。人数や年齢、時間等によって適宜アレンジしてください。

○対象年齢・・・小学生低学年（年齢によっては保護者のサポートが必要）

○時間・・・約 30 分

### ○ねらい

- ・限られたお金をどう使うかを考える
- ・お金には限りがあり「何かを買ったら、何かが買えなくなる」ということを知る
- ・必要なものと欲しいものが違うことを知る

### ○準備物

- ・依頼者が準備するもの・・・マグネットが貼れるもの（ホワイトボードや黒板等）
- ・当委員会より貸出するもの・・・カレー作りゲームの食材を記したラミネートカード（大小）



【ラミネートカード（小）】  
配付用カードです。封筒内には  
ゲームで使用するカードが入っ  
ています

【ラミネートカード（大）】※マグネット付き  
配付用カード（左）と同じものです。  
ゲームの説明時や発表時に、講師がホワイトボード等  
に貼付するために使用します

## ○ゲームの流れ

### 1. ルールを説明

- ・ ホワイトボード等にカレー作りゲームの食材カードを貼り、ルールを説明
  - カレーの食材を買う
  - お金は「おはじき」１０個分
  - おうちの人を喜ばせるために作る
  - おうち的人是ビーフカレーが好き（←後だしで付け加えると盛り上がります）
- ・ カレーの作り方を簡単に説明（レトルトしか知らないため作り方を全く知らない子供も多い）
- ・ お金の勉強をするためのゲームであることを伝える（お金を使わないゲームではなく、予算をしっかりと使い切るゲーム）

### 2. カード配付

- ・ 一人一つ封筒を配付
- ・ カードの枚数が揃っているか各自で確認してもらう

### 3. 考える時間

- ・ ５分程度時間を設け、各自でカレーの食材を選んでもらう

### 4. 発表タイム

- ・ 選んだカードと選んだ理由を発表してもらう（発表人数は４、５人）
- ・ 子供が発表したカレーの食材カードをホワイトボードに貼る
- ・ 「同じ組合せの人は？」と尋ねてから、「違う組合せの人は？」と聞く

### 5. まとめ

- ・ みんなの選んだカードのうち「この中で共通する食材は何かな？」と尋ね、カレーを作るにはカレー粉が必要であることを伝える（カレー粉を買ったうえで他の食材で加えたいものを考える）
  - お金は使えば減り、限りがある（お金は収入の範囲で使わないといけない）
  - 何かを買ったら何かが買えなくなる
  - 欲しいものと必要なものを考える
  - 家のお金はどこから来る？お金は大事に使わないといけない
- ・ 上手にカレーの食材を選んだ自分とお友達に拍手

### 6. 片付け

- ・ 使用したカードの枚数を確認し封筒に片づけてもらう

## ○注意点

- ・ 机に各自のカードを広げる場合、机上はカードのみにする。プリント類と混ざると紛失の元
- ・ 必要に応じて先生などにサポートを依頼しておくといよい（封筒を配付してもらう、ラミネートカードをホワイトボード等に貼ってもらう等）